



2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月12日

上場会社名 株式会社東京衡機 上場取引所 東
 コード番号 7719 URL <https://www.tksnet.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小塚 英一郎
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理担当 (氏名) 伊集院 功 (TEL) 050-3529-6502
 四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績(2024年3月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	800	△5.0	14	△64.7	18	△54.0	25	—
2024年2月期第1四半期	842	20.8	41	69.8	39	△7.5	△23	—

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 25百万円(—%) 2024年2月期第1四半期 △23百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年2月期第1四半期	円 銭 3.64	円 銭 3.59
2024年2月期第1四半期	△3.33	—

(注) 2024年2月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株あたり四半期純損失であり、かつ、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年2月期第1四半期	百万円 3,363	百万円 1,557	% 45.7
2024年2月期	3,664	1,520	41.2

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 1,535百万円 2024年2月期 1,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年2月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,720	0.2	△39	—	△42	—	△63	—	△8.83
通期	3,780	12.3	67	△49.5	62	△54.7	51	△44.0	7.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期1Q	7,133,791株	2024年2月期	7,133,791株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	2,905株	2024年2月期	2,904株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期1Q	7,130,886株	2024年2月期1Q	7,130,888株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年3月1日~2024年5月31日)におけるわが国経済は、コロナ禍を乗り越え、インバウンド需要が回復し、経済活動が本格的に正常化の過程に入る一方で、円安の更なる進行や原材料・エネルギー価格の高騰、中国経済の先行き懸念、中東情勢の緊迫化、ロシアのウクライナ侵攻の長期化等、わが国経済を取り巻く世界情勢は依然として予断を許さない状況となっております。

このような状況の下、当社は、当社グループの技術と知識で持続可能な豊かな社会の実現に貢献すべく、社会の抱える様々な課題との関わりを常に意識し、グループ一丸となって持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでおります。また、(株)東京衡機試験機においては役員体制の見直しを行い、原価管理を徹底しコスト低減を図るため相模原工場と豊橋工場の連携を強化するとともに、CAE(Computer Aided Engineering)ソフトウェアの開発およびその受託解析・開発業務を行っている業務提携先の(株)先端力学シミュレーション研究所と連携して設計・見積り業務の効率化に向けたデータベースの構築などの事業拡大のためのプラットフォーム作りに取り組んでおり、2024年2月27日に公表した中期3ヵ年経営計画に則り、今後さらに成長していくための施策を進めております。

当社グループの主力事業は当社創業以来の試験機事業であり、これとあわせて「ゆるみ止め製品」のエンジニアリング事業を展開し、強固な収益基盤を確立していくことに注力しております。この二つのコア事業は産業の基盤と社会インフラの「安全・安心」を支える事業であり、社会に必要不可欠な製品・商品・サービスを提供する企業グループとして今後も成長していくために、顧客満足度の向上を目指して製品品質・サービスの向上に取り組むとともに、コア事業の発展が期待できる他社との業務提携や事業シナジー効果が期待できる分野への進出も検討してまいります。

また、当社は、2023年3月30日付で(株)東京証券取引所より、当社株式会社について特設注意市場銘柄(現在は「特別注意銘柄」に名称変更)の指定を受け、グループの役職員一丸となってガバナンス・内部管理体制を抜本的に改善し整備していくための改善措置・再発防止策の実行に取り組み、2024年4月1日に(株)東京証券取引所に内部管理体制確認書を提出しましたが、既に退任している当社の元商事事業担当取締役による外注先を介した製造委託料の水増し・キックバックの不正行為が発覚したしたことにより過年度決算の訂正を行いました。その後、2024年5月24日に、(株)東京証券取引所より、改善計画に関し各種社内組織や規程等の整備といった一定の対応が行われていることが認められたものの、内部管理体制に関して更なる対応を必要とする状況が認められるとして、特別注意銘柄指定を継続する旨の通知を受領するに至り、上場維持とステークホルダーの皆様からの信頼回復に向けてガバナンス・内部管理体制の整備・強化を進め、役職員一丸となって改善に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、試験機事業につきましては、各種材料の評価試験、動力・性能試験等の各分野における業界トップレベルの品揃えを強みに、開発・設計・生産からメンテナンス・校正まで、技術と実績に裏付けられたワンストップソリューションを提供するとともに、業務提携先の(株)先端力学シミュレーション研究所と連携し実測(リアル)データと仮想(バーチャル)データをデジタルツイン技術でコラボレーションすること等の提案も行い、自動車、鉄鋼、鉄道、産業機器等のメーカーや各種研究機関、学校、官公庁など幅広いユーザーからご支持を頂くことができました。

また、エンジニアリング事業につきましては、公共工事や都市開発を中心にゆるみ止め製品の販売は堅調に推移したものの、エネルギー関係からの注文が落ち込み、売上高・利益ともに減少しました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は800,530千円(前年同期比5.0%減)、経常利益は18,099千円(前年同期比54.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は25,945千円(前年同期は23,755千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 試験機事業

試験機事業では、新型コロナウイルス感染症の影響が収まり、国内企業の景況感は上向きになり設備投資意欲にも持ち直しの動きが見られる中で、オーダーメイドの試験機を中心に受注・引き合いは堅調に推移し、売上高については前年同期を下回ったものの、営業利益は前年同期を上回ることができました。

以上の結果、試験機事業の売上高は679,185千円（前年同期比5.6%減）、営業利益は109,645千円（前年同期比9.3%増）となりました。

② エンジニアリング事業

エンジニアリング事業では、主力のゆるみ止めナット・スプリングについて、業務提携先のデジタル化技術を活用してゆるみ止め製品の内部構造を可視化した販売ツールを製作し、引き続き高速道路や橋梁、エネルギー関係等の社会インフラ向けや国内建設市場向けに製品の浸透と市場シェアの拡大に努めた結果、公共工事や都市開発で使用するゆるみ止め製品の販売は堅調に推移したものの、エネルギー関係からの注文が落ち込み、売上高・営業利益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、エンジニアリング事業の売上高は115,833千円（前年同期比5.5%減）、営業利益は6,620千円（前年同期比80.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,363,309千円となり、前連結会計年度末に比べ301,513千円減少いたしました。

流動資産は2,304,628千円となり、前連結会計年度末と比べて294,826千円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少202,291千円、受取手形及び売掛金の減少109,549千円、仕掛品の増加14,153千円等によるものです。

固定資産は1,058,680千円となり、前連結会計年度末に比べ6,686千円減少いたしました。これは主に建物及び構築物の減少4,400千円、繰延税金資産の減少5,189千円等によるものです。

流動負債は1,086,966千円となり、前連結会計年度末に比べ294,635千円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少131,583千円、未払法人税等の減少103,435千円、賞与引当金の減少29,399千円等によるものです。

固定負債は719,314千円となり、前連結会計年度末に比べ43,566千円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少29,694千円、退職給付に係る負債の減少10,176千円等によるものです。

純資産は1,557,028千円となり、前連結会計年度末に比べて36,688千円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加25,945千円、新株予約権の増加10,700千円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想につきましては、2024年5月1日付公表の「2024年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	976,649	774,357
受取手形及び売掛金	556,482	446,932
電子記録債権	171,771	160,212
商品及び製品	202,593	205,797
仕掛品	569,198	583,351
原材料及び貯蔵品	98,079	106,385
その他	25,903	28,676
貸倒引当金	△1,222	△1,085
流動資産合計	2,599,455	2,304,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	78,699	74,298
機械装置及び運搬具(純額)	10,754	10,211
工具、器具及び備品(純額)	19,162	19,599
土地	755,102	755,102
有形固定資産合計	863,718	859,211
無形固定資産		
ソフトウェア	2,820	3,187
ソフトウェア仮勘定	-	1,900
無形固定資産合計	2,820	5,087
投資その他の資産		
投資有価証券	69,208	73,178
保険積立金	15,953	15,953
繰延税金資産	80,022	74,833
長期営業債権	366,232	343,232
長期未収入金	254,048	254,048
その他	33,644	30,416
貸倒引当金	△620,281	△597,281
投資その他の資産合計	198,828	194,381
固定資産合計	1,065,367	1,058,680
資産合計	3,664,823	3,363,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	473,185	341,602
短期借入金	270,838	258,340
1年内返済予定の長期借入金	148,708	138,610
リース債務	9,583	7,215
未払法人税等	105,098	1,662
未払消費税等	42,827	39,390
未払金	38,527	60,408
未払費用	27,181	82,933
前受金	-	243
契約負債	162,026	140,803
賞与引当金	38,963	9,564
訂正関連費用引当金	53,560	-
その他	11,101	6,193
流動負債合計	1,381,601	1,086,966
固定負債		
長期借入金	241,036	211,342
リース債務	12,145	10,815
再評価に係る繰延税金負債	152,880	152,880
退職給付に係る負債	333,614	323,438
資産除去債務	23,205	20,838
固定負債合計	762,881	719,314
負債合計	2,144,483	1,806,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	104,255	104,255
利益剰余金	562,474	588,419
自己株式	△3,824	△3,824
株主資本合計	1,162,905	1,188,851
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	162	204
土地再評価差額金	346,323	346,323
その他の包括利益累計額合計	346,486	346,528
新株予約権	10,947	21,648
純資産合計	1,520,339	1,557,028
負債純資産合計	3,664,823	3,363,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年5月31日)
売上高	842,313	800,530
売上原価	543,185	523,667
売上総利益	299,128	276,862
販売費及び一般管理費	258,120	262,386
営業利益	41,008	14,476
営業外収益		
受取利息	2	2
持分法による投資利益	-	2,631
その他	827	3,208
営業外収益合計	830	5,841
営業外費用		
支払利息	2,054	1,635
為替差損	249	343
その他	189	239
営業外費用合計	2,493	2,218
経常利益	39,345	18,099
特別利益		
訂正関連費用引当金戻入額	16,650	-
貸倒引当金戻入額	8,000	23,000
特別利益合計	24,650	23,000
特別損失		
減損損失	52,572	-
固定資産除却損	-	1,310
貸倒引当金繰入額	11,089	-
資産除去債務履行差額	-	3,747
訴訟関連費用	-	3,693
特別損失合計	63,661	8,751
税金等調整前四半期純利益	334	32,347
法人税、住民税及び事業税	15,047	1,231
法人税等調整額	9,043	5,170
法人税等合計	24,090	6,402
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,755	25,945
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,755	25,945

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,755	25,945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	42
その他の包括利益合計	△7	42
四半期包括利益	△23,762	25,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,762	25,987

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

(追加情報)

1. (商事事業における不適切な売上高等の訂正)

当社は、第117期連結会計年度に、外部機関からの指摘を受け、第113期(2019年2月期)～第117期(2023年2月期)第2四半期までの商事事業の売上高計上の一部についての実態関係等を調査するため2022年12月9日から第三者委員会による調査を実施いたしました。当該調査の結果、商事事業の売上高に不適切な会計処理が存在していたことが明らかとなったため、上記過年度の商事事業の売上高等を訂正いたしました。また、当社は、上記の不祥事を受け、商事事業から撤退し、未回収となっている長期営業債権の回収と内部管理体制の改善を進めております。

これらの結果を受け、前連結会計年度の商事取引関連の長期営業債権は359,121千円、貸倒引当金(固定資産)は359,121千円、前連結会計年度の第1四半期連結累計期間の関連損益は、貸倒引当金戻入額(特別利益)8,000千円となり、当第1四半期連結累計期間の商事取引関連の長期営業債権は336,121千円、貸倒引当金(固定資産)は336,121千円、関連損益は、貸倒引当金戻入額(特別利益)23,000千円となっております。

2. (エンジニアリング事業における売上原価過大計上の訂正)

当社は、前連結会計年度に、外部からの情報提供により判明した、第111期(2017年2月期)～第118期(2024年2月期)までのエンジニアリング事業の売上原価計上の一部についての実態関係等を調査するため、2024年2月27日から調査委員会による調査を進めてまいりました。当該調査の結果、エンジニアリング事業において当社の元取締役が関与して不適切な取引(売上原価の水増し)が存在している事が明らかとなったため、上記過年度のエンジニアリング事業の売上原価等を訂正いたしました。

この訂正の結果、前連結会計年度の不適切な取引関連の長期未収入金は254,048千円、貸倒引当金(固定資産)254,048千円、前連結会計年度の第1四半期連結累計期間の関連損益は、貸倒引当金繰入額(特別損失)11,089千円となり、当第1四半期連結累計期間の不適切な取引関連の長期未収入金は254,048千円、貸倒引当金(固定資産)254,048千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	試験機事業	エンジニア リング事業	計				
売上高							
(1)外部顧客に 対する売上高	719,294	122,546	841,840	472	842,313	—	842,313
(2)セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—
計	719,294	122,546	841,840	472	842,313	—	842,313
セグメント利益 又は損失(△)	100,327	34,735	135,063	△3,079	131,983	△90,975	41,008

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商事事業及び不動産事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△90,975千円は、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	試験機事業	エンジニア リング事業	その他	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
減損損失	—	—	—	52,572	52,572

(注) 調整額は各セグメントに配賦していない全社資産であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	試験機事業	エンジニア リング事業	計				
売上高							
(1)外部顧客に 対する売上高	679,185	115,833	795,019	5,511	800,530	—	800,530
(2)セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—
計	679,185	115,833	795,019	5,511	800,530	—	800,530
セグメント利益 又は損失(△)	109,645	6,620	116,266	5,511	121,777	△107,301	14,476

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、持分法適用会社への管理業務料と当社相模原工場の一部敷地を貸与したことによる賃料収入であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△107,301千円は、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	試験機事業	エンジニアリング事業		
試験機製品	521,191	—	—	521,191
試験機修理	178,954	—	—	178,954
その他の試験機	19,148	—	—	19,148
商事取引	—	—	472	472
締結部材	—	122,546	—	122,546
その他	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	719,294	122,546	472	842,313
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	719,294	122,546	472	842,313

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商事事業及び不動産事業であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計
	試験機事業	エンジニアリング事業		
試験機製品	446,378	—	—	446,378
試験機修理	198,725	—	—	198,725
その他の試験機	34,081	—	—	34,081
商事取引	—	—	—	—
締結部材	—	115,833	—	115,833
その他	—	—	3,750	3,750
顧客との契約から生じる収益	679,185	115,833	3,750	798,769
その他の収益(注) 2	—	—	1,761	1,761
外部顧客への売上高	679,185	115,833	5,511	800,530

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び管理業務料であります。

2. 「その他の収益」は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)の適用範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。